

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 21 年度 理事総会(第 1 回理事会)

平成 21 年 4 月 15 日(水) 15:00 ~ 17:00

盛岡第一高等学校会議室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
協議	1 平成 20 年度事業報告ならびに決算報告	
	(1) 平成 20 年度役員	2
	(2) 事業報告	3
	(3) 決算報告	
	ア 一般会計	5
	イ 事業費会計 NHK 杯県大会	6
	ウ 事業費会計 新人大会	7
	エ 事業費会計 講習会事業	8
	2 放送専門部規約ならびに細則の改定	9
	3 平成 21 年度役員を選出(非改選期)	13
	4 平成 21 年度事業計画ならびに予算	
	(1) 事業計画	14
	(2) 予算	
	ア 一般会計	16
	イ 事業費会計 NHK 杯県大会	17
	ウ 事業費会計 新人大会	18
	エ 事業費会計 講習会事業	19
	5 NHK 杯県大会要項	20
	6 その他の事業要項	22
	7 その他	22
連絡	1 放送専門部の連絡方法	23
	2 上位大会等について	23
	3 平成 22 年度以降の予定	24
	4 その他	25
閉会		
資料	平成 20 年度大会結果	26
	岩手県高文連紀要より	(省略)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2009/bod20090415.pdf>

協議 1 平成 20 年度事業報告ならびに決算報告 (平成 21 年 2 月 13 日の第 3 回理事会で報告済)

(1) 平成 20 年度役員

専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	遠藤洋一	
副専門部長	盛岡市立高等学校長	鈴木俊	
専門部代表理事	岩手県立盛岡第一高等学校	菊地達哉	
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	千葉隆	
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	鷹羽要	
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	石原聰	
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	園田貴弘	
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	金森嘉人	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	佐藤英靖	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	川村理恵子	監事
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	監事・盛岡支部理事
専門部理事	岩手高等学校	竹本英三	
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立花巻南高等学校	前川啓太郎	
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	胆江支部理事
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	岩淵俊郎	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	鈴木浄美	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	遠藤直樹	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	和田健利	二戸支部理事
		(空席)	気仙支部理事
事務局長	岩手県立盛岡第一高等学校	菊地達哉	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	(兼)
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	鈴木雄平	
事務局員	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	

(2) 事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	11	金	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	16	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
5	26	月	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
5	29	木	第60回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第二・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
6	6	金	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (22校・121エントリー・246名)	県民会館	放送専門部・NHK
6	30	月	第8回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (5校・17名)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	14	月	アナウンス朗読研修会 (5校・22名・講師1名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	22	火	第55回NHK杯全国高校放送コンテスト (8校・24エントリー・88名)	オリンピックセンター NHKホール(東京)	全放連・NHK
7	25	金	Nコン番組制作セミナー	NHKふれあいホール	全放連・NHK
8	2	土	交通安全テレビCM制作講習会	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	6	水	短歌甲子園アナウンス講習会	おでって	協力事業 盛岡市
8	8	金	全国高文連放送専門部顧問会議	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	9	土	第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)放送部門 (7校・9エントリー・24名)	伊勢崎市民会館(群馬)	全国高文連
8	21	木	第3回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡白百合・盛岡第二・盛岡第三・盛岡市立)	姫神ホール アイーナ	協力事業 盛岡市
8	28	木	第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9	24	水	セミナーサポート事業メディアコミュニケーションセミナー (21校・186名・講師4名)	県民会館他	放送専門部
9	25	木	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	山形県民会館(山形)	東北高文連
10	8	水	第31回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (盛岡市立・盛岡第一・盛岡第三・盛岡第二)	県民会館	県高文連
10	12	土	放送研修会 (8校・89名・講師2名)	盛岡第一高校	放送専門部 盛岡支部
11	5	水	いわて教育の日記念行事 司会 (黒沢尻北)	県民会館	協力事業 県教育委員会
11	11	火	第31回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第26回岩手県高等学校放送新人大会 (19校・159エントリー・202名)	県民会館	放送専門部
11	13	木	第5回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
12	23	火	放送研修会 (7校・34名・講師2名)	盛岡第一高校	放送専門部
12	26	金	校内放送指導者講座 (5名参加,うち2名派遣)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	7	土	第12回東北高等学校放送コンテスト (9校・36エントリー・89名)	遊学館 山形県民会館(山形)	東北高文連
2	12	木	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	13	金	第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
3	18	水	会計監査	盛岡第一高校	放送専門部
3	28	金	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

主な上位大会結果（全結果は巻末資料「平成20年度大会結果」参照）

ア 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会入賞一覧

アナウンス部門

黒沢尻北(2)小山さくら 入選(11~60位相当)

盛岡第一(2)黒川絵里加 入選(11~60位相当)

朗読部門

盛岡第三(3)細谷翠 優良賞(5~10位相当)

黒沢尻北(3)高橋早紀 入選(11~60位相当)

創作ラジオドラマ部門

盛岡第一 KY K 制作奨励(11~20位相当)

イ 第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)放送部門入賞一覧

朗読部門

盛岡第二(3)永野生美 特別賞

ウ 第12回東北高等学校放送コンテスト(山形大会)入賞一覧

アナウンス部門

黒沢尻北(2)菊池拓 優良賞(4~6位相当)

黒沢尻北(2)小山さくら 奨励賞(7~10位相当)

朗読部門

盛岡白百合(1)佐藤夏美 入選(11~20位相当)

盛岡第三(2)宮佳波 入選(11~20位相当)

ラジオキャンペーン部門

宮古 GOING 米 WAY 優秀賞(2~3位相当)

宮古 米闘技/KOMETOGI 優良賞(4~6位相当)

盛岡第二 My lover is... 優良賞(4~6位相当)

テレビキャンペーン部門

黒沢尻北 かうんと 優秀賞(2~3位相当)

盛岡第三 らぶこめ 優良賞(4~6位相当)

宮古 RPG 奨励賞(7~10位相当)

エ 第26回岩手県高等学校放送新人大会による

第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門参加推薦一覧

アナウンス部門

盛岡第一(2)坂尾美帆 盛岡第一(1)小笠原舞子 黒沢尻北(2)小山さくら

朗読部門

盛岡第一(2)黒川絵里加 盛岡白百合(2)照井海乃 黒沢尻北(2)小松茉里

オーディオビクチャー部門 宮古

ビデオメッセージ部門 盛岡第一 盛岡市立

映像部門(協賛部門) 携帯電話動画部門 花巻北・盛岡第三

ビデオカメラ映像部門 岩手・宮古

(3) 決算報告

ア 一般会計

岩手県高等学校文化連盟放送専門部 平成20年度一般会計決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	251,972	251,972	0	
B 登録料				
B-01 学校登録料	132,000	126,000	-6,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02 個人登録料	83,000	80,500	-2,500	講習会参加生徒1人あたり500
登録料小計	215,000	206,500	-8,500	
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	130,000	121,000	-9,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	140,000	159,000	19,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	270,000	280,000	10,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯
D-02 セミナーサポート費	160,000	160,000	0	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	0	講習会
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	講習会・新人大会・NHK杯・研修会
D-05 研修費	50,000	50,000	0	講習会
補助金小計	510,000	510,000	0	
E 雑収入	28	694	666	利子
合計	1,247,000	1,249,166	2,166	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02 事務費	70,000	0	70,000	
A-04 通信費	10,000	0	10,000	
A-05 会議費	10,000	0	10,000	
運営費小計	100,000	10,000	90,000	
B 会議旅費				
B-01 諸会議	70,000	30,150	39,850	第3回理事会
B-02 県外諸会議	300,000	198,730	101,270	東北・全国会議、研修会
会議旅費小計	370,000	228,880	141,120	
C 事業費				
C-01 NHK杯県大会	260,000	213,854	46,146	事業予算・決算別途
C-02 講習会	200,000	342,765	-142,765	事業予算・決算別途
C-03 新人大会	210,000	210,331	-331	事業予算・決算別途
事業費小計	670,000	766,950	-96,950	
D 予備費	107,000	0	107,000	
総計	1,247,000	1,005,830	241,170	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,249,166 - 1,005,830 = 243,336 (次年度繰越金)

監査の結果、適正と認めます。

平成21年3月18日

監査 川村 理恵子

監査 鈴木 勇二

イ 事業費会計 NHK 杯県大会

第31回県高総文祭放送部門兼第55回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
一般会計より		260,000	213,854	-46,146	一般会計支C-01
内訳	参加料	130,000	121,000	-9,000	一般会計収C-01
	県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	一般会計収D-01
	専門部補助	50,000	12,854	-37,146	一般会計収D-04
合計		260,000	213,854	-46,146	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費					
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	80,000	42,860	37,140	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計		100,000	42,860	57,140	
B	旅費	50,000	47,854	2,146	
C 需用費					
C-01	食糧費	50,000	50,061	-61	審査員・係昼食
C-02	資料費	30,000	59,929	-29,929	事務用品
需用費小計		80,000	109,990	-29,990	
D	役務費	10,000	13,150	-3,150	郵券・全国要項有料分・振替手数料
E	予備費	20,000	0	20,000	
総計		260,000	213,854	46,146	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 213,854 -213,854 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成20年8月28日

監査 川村 理恵子
監査 鈴木 勇二

ウ 事業費会計 新人大会

第31回県高総文祭放送部門兼第26回岩手県高等学校放送新人大会決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
一般会計より	210,000	210,331	331	一般会計支C-03
内訳				
参加料	140,000	159,000	19,000	一般会計収C-02
専門部補助	70,000	51,331	-18,669	一般会計収D-04
合計	210,000	210,331	331	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費				
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	45,000	53,760	-8,760	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	125,000	133,760	-8,760	
B 旅費	30,000	32,675	-2,675	
C 需用費				
C-01 食糧費	40,000	35,000	5,000	審査員・係昼食
C-02 資料費	5,000	5,111	-111	事務用品
需用費小計	45,000	40,111	4,889	
D 役務費	5,000	3,785	1,215	郵券・上位大会手続き・振替手数料
E 予備費	5,000	0	5,000	
総計	210,000	210,331	-331	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 210,331 - 210,331 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成21年2月13日 監査 川村 理恵子
監査 鈴木 勇二

工 事業費会計 講習会事業

平成20年度講習会事業決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考	
一般会計より	200,000	342,765	142,765	一般会計支C-01	
内訳	セミナーサポート費	160,000	160,000	0	一般会計収D-02
	専門部補助	40,000	50,000	10,000	一般会計収D-01
	強化費		50,000	50,000	一般会計収D-03
	研修費		50,000	50,000	一般会計収D-05
	個人登録料		32,765	32,765	一般会計収B-02
合計	200,000	342,765	142,765		

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	111,110	131,110	-20,000	講師謝礼@22,222*5(うち源泉徴収税額@2,222*5)+20,000
B 旅費				
B-01 講師旅費	20,000	53,180	-33,180	安田18,740+34,440
B-02 講師宿泊費	20,000	39,200	-19,200	高文連規定による定額2泊+2泊
旅費小計	40,000	92,380	-52,380	
C 需用費				
C-01 資料作成費			0	
C-02 印刷代	25,000	99,225	-74,225	テキスト@496.125*200部
C-03 教材作成費			0	
C-04 講師昼食代	15,000	15,748	-748	講師・役員
C-05 消耗品費		1,932	-1,932	
需用費小計	40,000	116,905	-76,905	
D 役務費				
D-01 郵便料金	3,000	1,740	1,260	
D-02 宅配料金			0	
D-03 運搬費			0	
D-04 振込手数料	1,000	630	370	
D-05 その他通信費			0	
役務費小計	4,000	2,370	1,630	
E 予備費	4,890		4,890	
総計	200,000	342,765	-142,765	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 342,765 - 342,765 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成21年2月13日 監査 川村 理恵子

監査 鈴木 勇二

協議2 放送専門部規約ならびに細則の改定

専門部長に関する規程の改定，関係する箇所の改定，字句修正

岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 改定案

第1章 総則

第1条(名称)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟放送専門部と称し，岩手県高等学校文化連盟に所属する。

第2条(事務局)

本専門部は，事務局を専門部長が委嘱する学校に置く。

第3条(構成)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟加盟校の放送・視聴覚等の部・委員会等(以下「放送部等」という)により構成する。

2 本専門部に岩手県高等学校文化連盟が定める10支部(盛岡，花巻，北上，奥州，一関，気仙，釜石，宮古，久慈，二戸)を置く。

第2章 目的及び事業

第4条(目的)

本専門部は，岩手県高等学校文化連盟の掲げる目的に即して，放送部等の相互理解と，校内放送活動の育成，振興，ならびに健全な発展に寄与することを目的とする。

第5条(事業)

本専門部は，前条の目的達成のために，次の事業を行う。

- (1) 大会，講習会，研修会の開催に関すること。(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会，岩手県高等学校放送新人大会等)
- (2) 放送部等の情報交換および連絡に関すること。
- (3) 校内放送活動の研究に関すること。
- (4) 関係機関との情報交換および交流に関すること。
- (5) その他目的達成に必要な事業

第3章 役員

第6条(役員)

本専門部に次の役員を置く。

- (1) 専門部長 1名
- (2) 副専門部長 若干名
- (3) 専門部代表理事(事務局長) 1名
- (4) 専門部理事 若干名
- (5) 支部理事 各支部1名(10名)
- (6) 監事 2名

第7条(事務局)

本専門部事務局に次の事務局員を置く。

- (1) 事務局長(専門部代表理事) 1名

- (2) 庶務担当 若干名

- (3) 会計担当 若干名

第8条(職務)

役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は，本専門部を代表し，会務を統轄する。
- (2) 副専門部長は，専門部長を補佐し，専門部長に事故あるときは，その職務を代行する。
- (3) 専門部代表理事は，理事会を統括し，事務局長として会務を処理する。
- (4) 専門部理事は，理事会を組織し，会務を処理する。
- (5) 監事は，業務の監督及び会計の監査を行う。
- (6) 事務局員は，本専門部の事務を処理する。

第9条(選出)

役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 専門部長は，岩手県高等学校長協会の推薦により，理事総会で承認する。
- (2) 副専門部長は，理事総会の推薦により，専門部長が委嘱する。
- (3) 専門部代表理事(事務局長)，専門部理事，監事は，理事総会の推薦により，専門部長が委嘱する。
- (4) 支部理事は，専門部理事より各支部で選出し，理事総会で承認する。
- (5) 事務局員は，専門部長が委嘱する。

2 役員の重任は妨げない。

第10条(任期)

役員の任期は2年とする。ただし，再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。

第4章 会議

第11条(会議)

本専門部の会議は次のとおりとする。

- (1) 理事総会 本専門部役員全員で構成する。理事総会は本専門部の最高決議機関であり，毎年1回専門部長が招集する。
- (2) 理事会 専門部長，副専門部長，専門部代表理事(事務局長)，専門部理事で構成する。必要に応じて専門部長が招集する。
- (3) 事業実行委員会 主催事業毎，ならびに上位大会を主管する毎に組織する。必要に応じて専門部長が招集する。

第 12 条(会議に付議すべき事項)

(1) 理事総会

- 事業報告および決算
- 事業計画および予算
- 役員を選出
- 規約の改定
- その他特に必要な事項

(2) 理事会

- 理事総会から委嘱された事項
- 細則の改定
- 加盟団体から提案された事項
- その他必要な事項

第 13 条(議決)

会議は構成校の 3 分の 2 以上の出席で成立するものとし、委任状はこれを認める。

- 2 議決は出席者の過半数の賛否により決定する。ただし 1 校 1 票とする。

第 5 章 会計

第 14 条(会計)

本連盟の経費は、登録料・参加料・補助金(岩手県高等学校文化連盟等)・寄付金及びその他の収入をもって、これにあてる。

第 15 条(会計年度)

本専門部の会計年度は当年 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条(会計経理)

本専門部の会計は、別に定める会計事務に関する細則による。

附則

- 1 この規約は、理事総会の議決によらなければ変更することができない。
- 2 この規約の実行に必要な細則は、理事会の議決をへて別に定める。
- 3 この規約は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 4 この規約は、平成 15 年 4 月から施行する。
- 5 この規約は、平成 18 年 4 月から施行する。
- 6 この規約は、平成 20 年 4 月から施行する。
- 7 この規約は、平成 21 年 4 月から施行する。

役員選出に関する細則 改定案

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第6条および第9条による役員選出について定めるものである。

第2条(役員選出の原案)

役員を選出については、別表1により原案を作成する。事務局については第3条で定める。

第3条(事務局の輪番)

事務局は、2年交代の輪番制とする。

2 輪番制の対象校は盛岡支部内の専門部理事担当校とする。

3 輪番制の詳細については、別表2による。

附則

1 この細則は理事会の議により改定することができる。

2 別表1および別表2は、事務局が交代する直前の理事会で改定することを原則とする。

3 この細則は、平成13年4月1日から施行する。

4 この細則は、平成16年4月から施行する。

5 この細則は、平成17年4月から施行する。

6 この細則は、平成20年4月から施行する。

7 この細則は、平成21年4月から施行する。

別表1 役員案作成に関する事項

専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。

副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。

専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。

専門部理事 大会(NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事 前事務局校と次期事務局校とする。

備考 専門部長について2009(平成21)年4月の岩手県高等学校長協会の推薦は、岩手県立黒沢尻北高等学校校長。

別表2 事務局の輪番に関する事項

1 盛岡白百合学園 1996～1997年度

2 盛岡第二 (インターハイ式典)

3 盛岡第三 1998～1999年度

4 盛岡南 2000～2001年度

5 不来方 2002～2003年度

6 盛岡工業 2004～2005年度

7 盛岡商業 2006～2007年度

8 盛岡第一 2008～2009年度

9 盛岡市立 2010～2011年度

10 盛岡北 2012～2013年度

11 盛岡第四 2014～2015年度

12 岩手 2016～2017年度

(12番の次は1番に戻る)

備考 輪番制は1996(平成8)年度から実施している。輪番については、記載順を原則とする。

会計事務に関する細則 改定案

第1条(趣旨)

この細則は、岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約の附則に基づき、同規約第14条による会計事務の執行について定めるものである。

第2条(会計事務)

会計事務は、専門部長の指導のもと、事務局長が担当する。

2 予算書は、事務局長が作成し、理事総会の議を経なければならない。

3 収納した現金は、確実な金融機関に預金し、事務局長が保管する。

4 事務局長は、予算書および関係書類を照合し、その内容金額を適正時期に支出する。受領した領収証は厳重に保管し、速やかに記帳処理を行う。

5 決算書は、会計年度終了後速やかに作成し、監査後、理事総会の承認を得なければならない。

第3条(登録料)

登録料は、次のとおりとする。納期は理事会で定める。

(1) 学校登録料 NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会に参加する加盟校1校あたり、年額6,000円。

(2) 個人登録料 講習会に参加する1・2年の生徒1人あたり、年額500円。

第4条(参加料)

本専門部の主催する事業の参加料、ならびに納期は、理事会で定める。

第5条(旅費)

旅費は、岩手県高等学校文化連盟旅費規程による。

第6条(事業費)

本専門部が主催する事業については、放送専門部一般会計から相当額の事業費を支出し、その都度予算書を作成し、理事会の議を経て執行する。予算書は、事務局長が作成する。

2 事業終了後は、速やかに決算書を作成し、監査後、

理事会の承認を得なければならない。

附則

- 1 この細則は理事会の議により改定することができる。
- 2 この細則は、平成13年4月1日から施行する。
- 3 この細則は、平成20年4月から施行する。
- 4 この細則は、平成21年4月から施行する。

岩手県高等学校文化連盟旅費規程 (参考資料)

第1条(趣旨)

この規定は岩手県高等学校文化連盟会計規定第2条により、旅費に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条(旅費の支給)

岩手県高等学校文化連盟加盟校の職員(以下「加盟校職員」という。)が岩手県高等学校文化連盟(以下「県高文連」という。)の主催する事業を遂行するために旅行する場合には、当該加盟校職員に対し、旅費を支給する。

2 前項の規定に関わらず、加盟校職員が県高文連の主催する大会(以下「主催大会」という。)等に、参加生徒を引率する業務を兼ねて従事する場合には、旅費を支給しない。

3 加盟校職員以外の者が、県高文連の依頼に応じ、県高文連の主催する事業の遂行を補助するために旅行した場合には、その者に対し旅費を支給する。

第3条(旅費の種類)

旅費の種類は、交通費、現地経費、宿泊料とする。

第4条(交通費)

交通費は、鉄道賃、船賃、航空賃、車賃とし、旅行の経路に応じて、次の各号に定めるところにより実費相当額を支給する。

- (1) 鉄道賃は、加盟校職員が所属する学校(以下「加盟校」という。)の最寄り駅から用務地の最寄り駅までの運賃実費を支給する。
- (2) 船賃は、水路旅行について、路程に応じ船賃実費を支給する。
- (3) 航空賃は、航空旅行について、路程に応じ支給するものとし、その額は現に支払った額とする。
- (4) 加盟校又は用務地から最寄り駅までの陸路距離が相当程度と認められる場合に限り、陸路旅行について、路程に応じ車賃を支給することができる。その額は岩手県職員の例による。
- (5) 前各号の規定に関わらず、全路程の鉄道賃金等が500円に満たない場合には500円を支給する。

第5条(現地経費)

現地経費は、旅行中の日数に応じ1日当たりの定額により支給するものとし、その額は次のとおりとする。

- (1) 旅行の用務地が県内である場合には、1,500円を支給する。
 - (2) 旅行の用務地が県外である場合には、2,200円を支給する。(甲地方のみ2,900円)
- 2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合には、当該各号に規定する額に調整する。
- (1) 行程40キロメートル未満の旅行であって、用務地が県内のものについては、支給しない。
 - (2) 用務が主催大会であって、昼食が支給される場合は、前項の各号に規定する額の2分の1に相当する額。
 - (3) 公用車等のみを利用して旅行する場合は、前項の各号の規定する額の2分の1に相当する額。

第6条(宿泊料)

宿泊料は、旅行中の夜数に応じ1夜当りの定額により支給するものとし、その額は9,800円とする。(甲地方のみ10,900円)

- 2 前項の規定に関わらず、次の各号の一に該当する場合には、当該各号に規定する宿泊料を支給する。
- (1) 旅行者が自己所有の空き家、配偶者宅等に宿泊する場合には、宿泊料は支給しない。
 - (2) 主催大会に関する業務に従事する場合等で、大会主催者等により宿泊料が定められている場合には、当該実費額を支給する。
- 3 主催大会等に関する業務に従事する場合で、県高文連会長が必要と認めた者に対しては、宿泊料を支給することができる。

第7条(準用)

この規定に定める事項以外については、岩手県職員の例による。

附則

- 1 この規定は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規定は、平成18年4月21日から施行する。

協議 3 平成 21 年度役員の選出(非改選期)

専門部長	岩手県立黒沢尻北高等学校長	上原耕太郎	
副専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	千葉研二	(事務局校)
副専門部長	盛岡市立高等学校長	鈴木俊	(次期事務局校)
専門部代表理事	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	事務局長
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	鈴木雄平	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	千葉隆	平成 32 ~ 33 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	平成 34 ~ 35 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	菅野千賀子	平成 26 ~ 27 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	石原聰	平成 24 ~ 25 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	岩本秀司	平成 36 ~ 37 年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	金森嘉人	平成 38 ~ 39 年度事務局校
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	佐藤英靖	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	三上隆弘	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	畑中元毅	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木一彦	監事・平成 40 ~ 41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	監事・盛岡支部理事・次期事務局校
専門部理事	盛岡市立高等学校	小林晃	
専門部理事	岩手高等学校	松田満	平成 28 ~ 29 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	平成 30 ~ 31 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	菅原浩	
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	全国総文祭映像部門担当
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	黄川田千秋	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立花巻南高等学校	前川啓太郎	
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	三田聡	
専門部理事	専修大学北上高等学校	昆洋子	
専門部理事	専修大学北上高等学校	高橋等	
専門部理事	専修大学北上高等学校	千田省一	
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	菊地達哉	NHK 杯運営委員・全国高文連理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	奥州支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷	
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	藤本武士	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	鈴木浄美	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	阿部雄至	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	遠藤直樹	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	大内寿文	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	千田純	二戸支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	鈴木耕二郎	
		(空席)	気仙支部理事

協議 4 平成 21 年度事業計画ならびに予算

(1) 事業計画

ア 大会事業 いずれも第 32 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催します。

第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 6 月 5 日(金) 県民会館

- ・NHK 杯全国大会(平成 21 年 7 月)の予選として実施します。
- ・アナウンス部門・朗読部門は、午前中に予選，午後に決勝をおこないます。
- ・全国大会要項「校内放送研究 148 号」は配布済みです。

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/pdf.html

第 27 回岩手県高等学校放送新人大会 11 月 13 日(金) 県民会館

- ・東北高等学校放送コンテスト(秋田大会，平成 22 年 2 月)ならびに第 34 回全国高等学校総合文化祭放送部門(宮崎大会，平成 22 年 8 月)の予選として実施します。
- ・アナウンス部門・朗読部門は、午前中に予選，午後に決勝をおこないます。
- ・キャンペーン部門のキーワードは「郷土の PR」です。

イ 講習会事業

- ・全生徒向け(メディアコミュニケーションセミナー等)，上位大会進出者対象(アナウンス朗読講習会)をそれぞれ複数回実施します。
- ・後援事業や協力事業(交通安全 CM コンテスト)においても講習会の実施を要請します。

ウ 研修会事業

- ・顧問対象の研修会(校内放送指導者講座等)への派遣を実施します。

エ 上位大会担当者

- ・NHK 杯全国大会 岩谷堂高校 菊地達哉 NHK 杯運営委員
- ・全国高総文祭放送部門 岩谷堂高校 菊地達哉 全国高文連放送部会理事
- ・全国高総文祭映像部門 花巻北高校 高橋篤志
- ・東北高等学校放送コンテスト 盛岡市立高 鈴木勇二
- ・東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 岩谷堂高校 菊地達哉 大会事務局

オ 平成 21 年度事業日程

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	15	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
6	5	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第9回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	(中旬)		アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	火 金	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト	オリンピックセンター NHKホール(東京)	全放連・NHK
7	24	金	Nコン番組制作セミナー	(首都圏)	全放連・NHK
7	30 31	木 金	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)映像部門	アストプラザ(津)	全国高文連
7	31	金	全国高文連放送専門部顧問会議	松阪市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	1 2	土 日	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門	松阪市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	(上旬)		交通安全テレビCM制作講習会	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
9	(上旬)		第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9	(下旬)		放送講習会	盛岡第一高校	放送専門部
9	(下旬)		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(秋田)	東北高文連
10	2	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館	県高文連 (宮古支部主管)
10	8	木	メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	9	月	第6回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
11	13	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第27回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12	(下旬)		アナウンス朗読講習会	盛岡第一高校	放送専門部
12	27 28	日 月	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	5 6	金 土	第13回東北高等学校放送コンテスト	秋田県民会館	東北高文連
2	(中旬)		第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
2	(下旬)		会計監査,盛岡市立高校へ引継ぎ	盛岡第一高校	放送専門部
3	(下旬)		第57回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

(3) 予算

ア 一般会計

岩手県高等学校文化連盟放送専門部 平成21年度一般会計予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 前年度繰越	243,336	251,972	251,972	-8,636	
B 登録料					
B-01 学校登録料	120,000	132,000	126,000	-12,000	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02 個人登録料	80,000	83,000	80,500	-3,000	講習会参加生徒1人あたり500
登録料小計	200,000	215,000	206,500	-15,000	
C 参加料					
C-01 NHK杯県大会参加料	130,000	130,000	121,000	0	1エントリーあたり1000
C-02 新人大大会参加料	150,000	140,000	159,000	10,000	1エントリーあたり1000
参加料小計	280,000	270,000	280,000	10,000	
D 補助金					
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	NHK杯
D-02 セミナーサポート費	391,000	160,000	160,000	231,000	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	50,000	0	研修会
D-04 専門部補助	170,000	170,000	170,000	0	新人大大会・NHK杯・講習会
D-05 研修費	50,000	50,000	50,000	0	研修会
補助金小計	741,000	510,000	510,000	231,000	
E 雑収入	664	28	694	636	利子
合計	1,465,000	1,247,000	1,249,166	218,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 運営費					
A-01 分担金	10,000	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02 事務費	10,000	70,000		-60,000	事務費・通信費・会議費
(廃止項目分)		20,000		-20,000	(通信費・会議費)
運営費小計	20,000	100,000	10,000	-80,000	
B 会議旅費					
B-01 諸会議	70,000	70,000	30,150	0	第3回理事会
B-02 県外諸会議	120,000	60,000	58,760	60,000	東北・全国会議
会議旅費小計	190,000	130,000	88,910	60,000	
C 事業費					
C-01 NHK杯県大会	260,000	260,000	213,854	0	事業予算・決算別途
C-02 新人大大会	260,000	210,000	210,331	50,000	事業予算・決算別途
C-03 講習会	401,000	200,000	342,765	201,000	事業予算・決算別途
C-04 研修会	240,000	240,000	139,970	0	全国研修会等派遣補助
事業費小計	1,161,000	910,000	906,920	251,000	
D 予備費	94,000	107,000	0	-13,000	
総計	1,465,000	1,247,000	1,005,830	218,000	

イ 事業費会計 NHK 杯県大会

第32回県高総文祭放送部門兼第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
一般会計より		260,000	260,000	213,854	0	一般会計支C-01
内訳	参加料	130,000	130,000	121,000	0	一般会計収C-01
	県高総文祭部門費	80,000	80,000	80,000	0	一般会計収D-01
	専門部補助	50,000	50,000	12,854	0	一般会計収D-04
合計		260,000	260,000	213,854	0	

2 支出の部

項目		予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費						
A-01	審査員謝金	20,000	20,000	0	0	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	45,000	80,000	42,860	-35,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計		65,000	100,000	42,860	-35,000	
B	旅費	70,000	50,000	47,854	20,000	
C 需用費						
C-01	食糧費	50,000	50,000	50,061	0	審査員・係昼食
C-02	資料費	40,000	30,000	59,929	10,000	事務用品
需用費小計		90,000	80,000	109,990	10,000	
D	役務費	20,000	10,000	13,150	10,000	郵券・手数料
E	予備費	15,000	20,000	0	-5,000	
総計		260,000	260,000	213,854	0	

ウ 事業費会計 新人大会

第32回県高総文祭放送部門兼第27回岩手県高等学校放送新人大会予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
一般会計より	260,000	210,000	210,331	50,000	一般会計支C-03
内訳					
参加料	150,000	140,000	159,000	10,000	一般会計収C-02
専門部補助	110,000	70,000	51,331	40,000	一般会計収D-04
合計	260,000	210,000	210,331	50,000	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費					
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	55,000	45,000	53,760	10,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	135,000	125,000	133,760	10,000	
B 旅費	70,000	30,000	32,675	40,000	
C 需用費					
C-01 食糧費	40,000	40,000	35,000	0	審査員・係昼食
C-02 資料費	5,000	5,000	5,111	0	事務用品
需用費小計	45,000	45,000	40,111	0	
D 役務費	5,000	5,000	3,785	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	5,000	5,000	0	0	
総計	260,000	210,000	210,331	50,000	

工 事業費会計 講習会事業

平成21年度講習会事業予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考	
一般会計より	401,000	200,000	310,000	201,000	一般会計支C-03	
内訳	セミナーサポート費	391,000	160,000	160,000	231,000	一般会計収D-02
	強化費			50,000	0	一般会計収D-03
	専門部補助	10,000	40,000	50,000	-30,000	一般会計収D-04
	研修費			50,000	0	一般会計収D-05
合計	401,000	200,000	310,000	201,000		

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費	120,000	111,110	131,110		講師謝礼@22,222(うち源泉徴収税額@2,222)
B 旅費					
B-01 講師旅費	80,000	20,000	53,180	60,000	
B-02 講師宿泊費	60,000	20,000	39,200	40,000	高文連規定による定額
旅費小計	140,000	40,000	92,380	100,000	
C 需用費					
C-01 資料作成費				0	
C-02 印刷代	100,000	25,000	99,225	75,000	テキスト@496.125*200部
C-03 教材作成費				0	
C-04 講師昼食代	20,000	15,000	15,748	5,000	講師・役員
C-05 消耗品費	5,000		1,932	5,000	
需用費小計	125,000	40,000	116,905	85,000	
D 役務費					
D-01 郵便料金	5,000	3,000	1,740	2,000	
D-02 宅配料金				0	
D-03 運搬費				0	
D-04 振込手数料	5,000	1,000	630	4,000	
D-05 その他通信費				0	
役務費小計	10,000	4,000	2,370	6,000	
E 予備費	6,000	4,890		1,110	
総計	401,000	200,000	342,765	192,110	

協議 5 第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会要項

第 32 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼

第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 開催要項

1. 目的

現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟・NHK 盛岡放送局

3. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

4. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

5. 日時

平成 21 年 6 月 5 日(金) 9:00～16:30

日程の詳細については、後日参加校に連絡する。

6. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

7. 開催部門とエントリー数

- (1)アナウンス部門 各校 5 名以内
- (2)朗読部門 各校 5 名以内
- (3)ラジオドキュメント部門 各校 2 本以内
- (4)テレビドキュメント部門 各校 2 本以内
- (5)創作ラジオドラマ部門 各校 2 本以内
- (6)創作テレビドラマ部門 各校 2 本以内

8. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

9. 表彰と全国大会推薦

- (1)アナウンス部門・朗読部門
最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

優良賞 3 賞状 ...全国大会推薦

奨励賞 4 賞状

(2)ラジオ・テレビドキュメント部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

優良賞 2 賞状...全国大会推薦

(3)創作ラジオ・テレビドラマ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国大会推薦

(4)番組の 4 部門の全国大会推薦は、同一部門 1 校 1 本以内。エントリー数によって表彰数を変更することがある。

10. 各種規定

第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト要項「校内放送研究 No.148」のうち、専ら全国大会の規定である部分を除く。県大会に適用される規定は「校内放送研究 No.148」の次の各項目であること。

・ 3 ページ(開催要項)1・2・3・7

・ 4 ページ(参加規定)1・2・5

・ 6・7 ページ(アナ朗部門規定)1・2・3・8

・ 8～15 ページ(番組各部門規定)1・2・3・4・9・10

「校内放送研究 No.148」ならびに各種様式は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

11. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。

12. その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作権隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において

権利関係を適切に処理すること。

物の著作者や出演者，協力していただいた方々な

(3)応募された番組などは，放送等で公開されること
がある。制作にあたっては，番組に登場する著作

どから，公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	<p>参加申込書</p> <p>別に配布する様式により作成した電子データをメールで事務局に送付する。 申込書は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp</p>	5月15日(金) 17:00 必着
	<p>負担金</p> <p>(1) 参加料: 各部門とも1名(1本)につき, 1,000円 (2) 学校登録料: 参加1校につき, 6,000円 (1)(2)の合計額を, 参加申込み後に通知する口座に学校名で振込む。 振込手数料は各校負担, 負担金の領収書は銀行発行のものとする。</p>	5月21日(木) 17:00 必着
提出物	<p>ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門</p> <p>作品 MD1本・台本3部を事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。</p> <p>テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門</p> <p>作品テープ1本・台本3部を事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。</p> <p>作品本体とケースには, 市販のVHSテープまたはMDに同封されているシールに次の内容を記入して貼付すること。書式は指定しない。 部門名・エントリー番号, 学校名, 番組名 送付先: 〒020-8515 盛岡市上田3-2-1 盛岡一高内 高文連放送専門部事務局 杉本聖房</p>	6月2日(火) 17:00 必着
	<p>アナウンス部門・朗読部門</p> <p>原稿3部を大会の受付に提出すること。</p>	6月5日(金)

台本・原稿・テストパターン等の各種様式は，放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。
上位大会等は次のとおり。

- ・第9回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト
6月29日(月)～30日(火) 安比高原細野地区活性化センター アナ朗の全国大会進出者対象
- ・アナウンス朗読講習会
7月中旬 NHK盛岡放送局 アナ朗の全国大会進出者対象 講師: NHKアナウンサー
- ・第56回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
7月21日(火)～24日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター, NHKホール
理事ならびに引率顧問の皆様には, 運営と審査を分担していただきます。
運営・審査をお願いする皆様には, 当日の昼食を準備いたします。
実施要項(係分担, 日程の詳細等)は, エントリー確定後, ご連絡いたします。

協議 6 その他の事業要項

(1) 上位大会の要項

上位大会ならびに上位大会進出者対象の講習会の要項は、関係各校に別途お送りします。

ア 第9回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト

6月29日(月)～30日(火) 安比高原細野地区活性化センター 全国大会アナ朗代表対象

イ アナウンス朗読講習会

7月中旬 NHK 盛岡放送局 全国大会アナ朗代表対象

ウ アナウンス朗読講習会(セミナーサポート事業)

12月下旬 盛岡一高 東北大会アナ朗代表対象

エ 第13回東北高等学校放送コンテスト

2月5日(金)～6日(土) 秋田県民会館 新人大会の上位大会

(2) その他の事業要項

以下の要項は、第2回理事会(9月上旬)で審議します。

ア 放送講習会(セミナーサポート事業)

9月下旬 盛岡一高 日常の校内放送活動を中心とした講習会

イ メディアコミュニケーションセミナー(講習会 セミナーサポート事業)

10月8日(木) 県民会館他 アナウンス・朗読・番組の分科会ならびに全国大会報告

ウ 第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第27回岩手県高等学校放送新人大会

11月13日(金) 県民会館 第13回東北高等学校放送コンテストならびに第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)放送部門大会の県予選として実施する。

開催部門と上位大会推薦数は次のとおり。

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・アナウンス部門 | 上位3名全国推薦，上位12名東北推薦 |
| ・朗読部門 | 上位3名全国推薦，上位12名東北推薦 |
| ・ビデオメッセージ部門 | 上位2本全国推薦 |
| ・オーディオピクチャー部門 | 上位1本全国推薦 |
| ・ラジオキャンペーン部門 | 上位6本東北推薦 キーワード「郷土のPR」 |
| ・テレビキャンペーン部門 | 上位6本東北推薦 キーワード「郷土のPR」 |

エ 校内放送指導者講座への派遣

12月27日(日)～28日(月) 千代田放送会館(東京) 顧問対象研修会

協議 7 その他

連絡 1 放送専門部の連絡方法

(1) 放送専門部ウェブサイトについて

放送専門部のウェブサイトをご利用ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

(2) 放送専門部顧問メーリングリストについて

放送専門部顧問のメールアドレスを登録したメーリングリストを設けています。また、連絡は原則としてメーリングリストまたは個別のメールによりますので、一日一度はメールの確認をお願いします。なお、上位大会では文書の送付・申込書の送付を、すべてメールやウェブでおこなっています。

(3) 事務局からの文書発送について

加盟校あての文書は、公立高校へは GWW で、私立高校へはメール添付で送付します。同時に、放送専門部のウェブサイトにもデータを掲載しダウンロードできるようにします。また、その都度、メーリングリストまたは個別のメールで周知します。

(4) 部員数調査について

事業計画の基礎資料として、部員数等の調査をおこないます。4月21日(火)までに回答をお願いいたします。

連絡 2 上位大会等について

(1) 第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

7月22日(火)～25日(金) 国立オリンピック記念青少年総合センター、NHK ホール

今年度の変更点...アナ朗の準々決勝会場を6会場とする

来年度からの変更点...番組のメディアを、DVD-Video と CD-DA に変更する

詳細については6/5(金)の代表校打合せにて

(2) 第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門

<http://www.pref.mie.jp/MIESOBUN/>

7月31日(金)～8月2日(日) 松阪市民文化会館・松阪コミュニティ文化センター

ア 岩手県代表

アナウンス部門 盛岡第一(2)坂尾美帆 盛岡第一(1)小笠原舞子 黒沢尻北(2)小山さくら

朗読部門 盛岡第一(2)黒川絵里加 盛岡白百合(2)照井海乃 黒沢尻北(2)小松茉莉

オーディオピクチャー部門 宮古

ビデオメッセージ部門 盛岡第一 盛岡市立

イ 準備日程

- ・4/27(月)県高文連提出書類(参加申込書・調査書類・参加者名簿)締切
- ・5/7 (木)部門別参加票・作品・原稿等一式集約 岩谷堂高 菊地達哉先生
- ・5/8 (金)～15(金)三重県事務局受付期間
- ・5/29(金)宿泊・弁当申込締切

(3) 第 33 回全国高等学校総合文化祭(三重大会)映像部門

<http://www.pref.mie.jp/MIESOBUN/>

7月30日(木)～31日(金) アストプラザ(津市)

ア 岩手県代表

携帯電話動画部門 花巻北 盛岡第三

ビデオカメラ映像部門 岩手 宮古

イ 準備日程

4/27(月)県高文連提出書類(参加申込書・調査書類・参加者名簿)締切

5/25(月)部門別参加票・作品・書類等一式集約 花巻北高 高橋篤志先生

5/29(金)～6/5(金)三重県事務局受付期間

5/29(金)宿泊・弁当申込締切

(4) 県高総体総合開会式の司会について

高体連から推薦依頼により盛岡支部の2校(盛岡第二・盛岡白百合),計4名に依頼の予定。

(5) 県高総文祭総合開会式について

第32回 平成21年10月2日 宮古支部 主管は宮古高校 阿部雄至先生

第33回 平成22年 二戸支部

第34回 平成23年 盛岡支部

第35回 平成24年 気仙支部

(6) 岩手県高文連第1回理事会(4/13)報告

ア 専門部長の配置について...校長協会の配分による。放送専門部長は黒沢尻北校長

イ 県高文連優秀校発表会(仮称)について...議題とならず

ウ その他

連絡3 平成22年度以降の予定

(1) 平成22年度以降の日程の原則

ア NHK杯県大会 6月第2月曜(準備)・火曜(大会)

イ メディアコミュニケーションセミナー

10月第2火曜(準備)・水曜(行事)(体育の日の翌日・翌々日)

ウ 新人大会 11月第2月曜(準備)・火曜(大会)

(2) 平成 22 年度の予定

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4			理事総会・第1回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
6	8	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第57回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	28 29	月 火	第10回東北地区高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7			アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	水 土	第57回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
			Nコン番組制作セミナー	(首都圏)	全放連・NHK
8	3	火	全国高文連放送専門部顧問会議	清武町文化会館(宮崎)	全国高文連
8	4 5	水 木	第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)放送部門	清武町文化会館(宮崎)	全国高文連
9			第2回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
9			放送講習会		放送専門部
9			東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(福島県)	東北高文連
10	1	金	第33回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	二戸市民文化会館	県高文連 (二戸支部主管)
10	13	水	メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	9	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第28回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12			アナウンス朗読講習会		放送専門部
12			校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2			県高文連優秀校発表会(仮称)	県民会館	県高文連
2			第14回東北高等学校放送コンテスト	(福島県)	東北高文連
2			会計監査	盛岡市立高校	放送専門部
3			第58回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

(3) 平成 23 年度以降の上位大会について

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成 23 年 7 月 28 日(木) 平成 24 年 7 月 26 日(木) 平成 25 年 7 月 25 日(木)

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

平成 23 年福島県 平成 24 年富山県 平成 25 年長崎県 平成 26 年茨城県

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 23 年度青森県 平成 24 年度岩手県 平成 25 年度宮城県 平成 26 年度山形県

(秋田から時計回りを原則とする。21 年度からのローテーションでは、23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ、他をずらす)

連絡 4 その他

資料 平成 20 年度大会結果

第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会

2008-06-06 F 岩手県民会館

アナウンス部門(35 エントリー, 優良賞まで全国)

- 最優秀賞 黒沢尻北 (2)小山 さくら
- 優秀賞 盛岡第三 (3)小杉 桜子
- 優秀賞 盛岡第一 (2)黒川 絵里加
- 優良賞 盛岡第二 (3)大村 沙織
- 優良賞 盛岡第三 (2)古舘 真美
- 優良賞 黒沢尻北 (2)菊池 拓
- (奨励賞 盛岡白百合学園(3)伊藤 真実)
- (奨励賞 盛岡第一 (2)坂尾 美帆)
- (奨励賞 黒沢尻北 (3)菅野 友美)
- (奨励賞 盛岡第二 (3)阿部 章子)

朗読部門(39 エントリー, 優良賞まで全国)

- 最優秀賞 盛岡白百合学園(1)佐藤 夏美 シャ
- 優秀賞 盛岡第二 (3)永野 生美 檸檬
- 優秀賞 盛岡白百合学園(3)大森 有真 檸檬
- 優良賞 盛岡第三 (3)細谷 翠 シャ
- 優良賞 黒沢尻北 (3)高橋 早紀 シャ
- 優良賞 盛岡第一 (3)菅原 龍 源氏物語
- (奨励賞 盛岡第一 (3)押田 崇 シャ)
- (奨励賞 宮古 (2)鈴木 真美 シャ)
- (奨励賞 盛岡白百合学園(2)花澤 陽子 春の)
- (奨励賞 盛岡第二 (2)浅田 李子 シャ)

ラジオドキュメント部門(6 エントリー, 優良賞まで全国)

- 最優秀賞 黒沢尻北 心に響く音楽
- 優秀賞 盛岡白百合学園 あんしんネットライブ
- 優良賞 花巻北 これってどうなの!?
- 優良賞 宮古 井戸端「海」議, 始めます!

テレビドキュメント部門(9 エントリー, 優良賞まで全国)

- 最優秀賞 盛岡第一 私が坂本潤奈です。
- 優秀賞 宮古 その時, どうする?
- 優良賞 黒沢尻北 e-∞ れ!!
- 優良賞 盛岡第二 Change

創作ラジオドラマ部門(12 エントリー, 優秀賞まで全国)

- 最優秀賞 盛岡第一 KY K
- 優秀賞 黒沢尻北 ココロクオン
- (優良賞 盛岡第三 雨からもらった約束)
- (優良賞 花巻北 桜舞う季節, 君に。)

創作テレビドラマ部門(11 エントリー, 優秀賞まで全国)

- 最優秀賞 盛岡第三 別れの日
- 優秀賞 盛岡市立 大切なもの
- (優良賞 山田 タイムマシーンにのって)
- (優良賞 花巻北 恋のスルメ物語)

第 8 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト

2008-07-01 TU 安比高原郷野地区活性化センター

アナウンス部門

- 優良賞 盛岡第一(2)黒川 絵里加
- 優良賞 黒沢尻北(2)小山 さくら
- 優良賞 黒沢尻北(2)菊池 拓
- 奨励賞 盛岡第三(2)古舘 真美
- 奨励賞 盛岡第三(3)小杉 桜子
- 奨励賞 黒沢尻北(3)菅野 友美 (総文祭規定)
- 奨励賞 盛岡第二(3)大村 沙織
- 奨励賞 宮古 (2)久保田 祥子(総文祭規定)

朗読部門

- 優秀賞 盛岡第三(3)細谷 翠
- 優良賞 盛岡第一(3)菅原 龍
- 奨励賞 黒沢尻北(3)高橋 早紀
- 奨励賞 盛岡第二(3)永野 生美

第 55 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

2008-07-25 TH NHK ホール他

アナウンス部門(291 エントリー, 全国 3263 エントリー)

- 盛岡第一 (2)黒川 絵里加 入選(11~60 位相当)
- 黒沢尻北 (2)小山 さくら 入選(11~60 位相当)
- 盛岡第三 (3)小杉 桜子 (準々決勝まで)
- 盛岡第二 (3)大村 沙織 (準々決勝まで)
- 盛岡第三 (2)古舘 真美 (準々決勝まで)
- 黒沢尻北 (2)菊池 拓 (準々決勝まで)

朗読部門(291 エントリー, 全国 5020 エントリー)

- 盛岡第三 (3)細谷 翠 優良賞(5~10 位相当)
- 黒沢尻北 (3)高橋 早紀 入選(11~60 位相当)
- 盛岡白百合学園(1)佐藤 夏美 (準々決勝まで)
- 盛岡第二 (3)永野 生美 (準々決勝まで)
- 盛岡白百合学園(3)大森 有真 (準々決勝まで)
- 盛岡第一 (3)菅原 龍 (準々決勝まで)

ラジオドキュメント部門(173 エントリー, 全国 378)

- 黒沢尻北 心に響く音楽 (準々決勝まで)
- 盛岡白百合学園 あんしんネットライブ(準々決勝まで)
- 花巻北 これってどうなの!?(準々決勝まで)
- 宮古 井戸端「海」議, 始めます!(準々)

テレビドキュメント部門(178 エントリー, 全国 478)

- 盛岡第一 私が坂本潤奈です。(準々決勝まで)
- 宮古 その時, どうする?(準々決勝まで)
- 黒沢尻北 e-∞ れ!! (準々決勝まで)
- 盛岡第二 Change (準々決勝まで)

創作ラジオドラマ部門(97 エントリー, 全国 625 エントリー)

- 盛岡第一 KY K 制作奨励(11~20 位相当)
- 黒沢尻北 ココロクオン (準々決勝まで)

創作テレビドラマ部門(93 エントリー, 全国 338 エントリー)
 盛岡第三 別れの日 (準々決勝まで)
 盛岡市立 大切なもの (準々決勝まで)

第 32 回全国高等学校総合文化祭放送部門

2008-08-10 SN 群馬県伊勢崎市文化会館

アナウンス部門

盛岡白百合学園(3)伊藤 真実
 黒沢尻北 (3)菅野 友美
 宮古 (2)久保田 祥子

朗読部門

盛岡第二 (3)永野 生美 特別賞
 盛岡第三 (3)細谷 翠
 盛岡白百合学園(3)大森 有真

オーディオビクチャー部門

花巻北 Heart home 遠野

ビデオメッセージ部門

盛岡第一 おもてなしのわんこそば
 黒沢尻北 人々の心とともに

第 26 回岩手県高等学校放送新人大会

2008-11-11 TU 岩手県民会館

アナウンス部門

(47 エントリー, 優秀賞まで全国, 奨励賞まで東北)

最優秀賞 盛岡第一 (2)坂尾 美帆
 優秀賞 盛岡第一 (1)小笠原 舞子
 優秀賞 黒沢尻北 (2)小山 さくら
 優良賞 宮古 (2)久保田 祥子
 優良賞 盛岡白百合学園(1)井形 美紀
 優良賞 盛岡第三 (2)古舘 真美
 奨励賞 盛岡白百合学園(2)日野杉 美咲
 奨励賞 盛岡白百合学園(1)溝口 暢子
 奨励賞 盛岡第二 (2)高橋 経子
 奨励賞 黒沢尻北 (2)菊池 拓
 奨励賞 宮古 (2)西村 美佑紀
 奨励賞 花巻北 (2)晴山 翔太郎

朗読部門

(59 エントリー, 優秀賞まで全国, 奨励賞まで東北)

最優秀賞 盛岡第一 (2)黒川 絵里加 君に舞い降りる白
 優秀賞 盛岡白百合学園(2)照井 海乃 銀河鉄道の夜
 優秀賞 黒沢尻北 (2)小松 菜里 ジーキル
 優良賞 盛岡第三 (2)宮 佳波 父の
 優良賞 盛岡白百合学園(1)佐藤 夏美 うさぎと
 優良賞 盛岡第一 (2)竹内 麻優子 春
 奨励賞 盛岡白百合学園(2)椋澤 陽子 父の
 奨励賞 宮古 (1)伊藤 美保子 津軽
 奨励賞 盛岡第二 (2)浅田 李子 父の
 奨励賞 盛岡第三 (2)長沼 みさと 父の

奨励賞 宮古 (2)鈴木 真美 父の
 奨励賞 盛岡第二 (2)佐々木 愛実 うさぎと

オーディオビクチャー部門(11 エントリー, 全国)

最優秀賞 宮古 ころせん
 優秀賞 黒沢尻北 悠久の時を越え
 優秀賞 黒沢尻北 さといも サトイモ 里の芋

ビデオメッセージ部門(11 エントリー, 全国)

最優秀賞 盛岡第一 俺を続ける
 優秀賞 宮古 たったひとつの診療所
 優秀賞 盛岡市立 期末考査
 優良賞 岩手 小銭を持って出掛けよう!

ラジオキャンペーン部門(14 エントリー, 優良賞まで東北)

最優秀賞 宮古 GOING 米 WAY
 優秀賞 盛岡第一 コメイン
 優秀賞 盛岡市立 想いを...
 優良賞 宮古 米 FAVORITE
 優良賞 盛岡第二 My lover is...
 優良賞 盛岡第二 こめモリー

テレビキャンペーン部門(17 エントリー, 優良賞まで東北)

最優秀賞 盛岡第三 らぶこめ
 優秀賞 盛岡白百合学園 元気の素は!
 優秀賞 黒沢尻北 count
 優良賞 盛岡商業 マルこめ Boze
 優良賞 宮古 新米
 優良賞 盛岡市立 KM

第 12 回東北高等学校放送コンテスト

2009-02-08 SN 山形県民会館

アナウンス部門(74 エントリー)

優良賞 黒沢尻北 (2)菊池 拓 NHK 杯規定
 奨励賞 黒沢尻北 (2)小山 さくら NHK 杯規定

朗読部門(74 エントリー)

入選 盛岡白百合学園(1)佐藤 夏美 うさぎと
 入選 盛岡第三 (2)宮 佳波 父の

ラジオキャンペーン部門(38 エントリー)

優秀賞 宮古 GOING 米 WAY
 優良賞 宮古 米闘技 / KOMETOGI
 優良賞 盛岡第二 My lover is...

テレビキャンペーン部門(38 エントリー)

優秀賞 黒沢尻北 かうんと
 優良賞 盛岡第三 らぶこめ
 奨励賞 宮古 RPG

大会の全結果は、放送専門部のサイトで参照できます。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>